早起き野球たより

No.63　全日本早起き野球協会報

発行／全日本早起き野球協会　発行日／平成27年12月1日
事務局／徳島県阿南市宝田町今市中新開23-3　TEL.FAX 0884-23-0586　発行責任者　宮入　昭夫
http://www.stannet.ne.jp/s-tagami/

第三十五回 全日本早起き野球大会

万騎が原ナイツ（神奈川）

姫路市にて開催

十六年ぶり二回目の優勝!!

第三十五回を迎えた全日本早起き野球大会は世界遺産姫路城で有名な姫路市で開催。

大会には全国各地から三十二チームが参加し、十月二日から三日間にわたって各チームが、あかつきの栄光を目指し熱戦を繰り広げた。

大会では神奈川県代表万騎が原ナイツチームが十六年ぶり二回目の優勝を達成した。

また、全体交流会は、姫路商工会議所精交クラブで行われ300名が参加し盛大に行われた。

■ウインク野球場

決勝戦	豊田クラブ（愛知）	0	0	0	0	0	0	0	0
	万騎が原ナイツ（神奈川）	0	0	0	1	0	0	×	1

（豊）平井―豊田
（万）岩本、横山―板垣
二塁打＝石澤（万）

優勝の万騎が原ナイツ

3回までで両チーム合わせて内野安打1本の投手戦を破って先制点を挙げたのは、万騎が原ナイツだった。

4回表の先頭打者、4番EDHの石澤のレフトオーバーフェンス直撃の2ベースヒットで得点圏に。一死後、6番板垣のライト前ヒットで石澤生還して貴重な先取点を挙げる。

万騎が原は、岩本、横山の両投手の好投で、豊田クラブ打線を1安打1四球に抑え完封した。

豊田クラブも良く善戦した。得点を許したイニング以外は良く抑えチャンスを与えなかった。決勝戦に相応しい好ゲームだった。

準優勝の豊田クラブ

個人賞

◇最優秀選手賞
横山　郁也（万騎が原ナイツ）

◇優秀選手賞
石田　則夫（万騎が原ナイツ）
板垣　賢（万騎が原ナイツ）
平井　洋丞（豊田クラブ）
水野　一輝（豊田クラブ）

◇最優秀監督賞
野澤　洋之（万騎が原ナイツ）

◇優秀監督賞
佐野　裕己（豊田クラブ）

優勝監督の話

万騎が原ナイツ　野澤洋之監督

準決勝・決勝と接戦の末の勝利だった。チームのまとまりで勝つことができた。応援してくれた人に感謝したい。

鈴木賞

開会式において永年にわたり早起き野球の発展のため功績のあった故安井雅道氏（京都）、阿部福次氏（宮城）に鈴木賞が贈られた。

【一回戦】

チームダイナマイツ（千葉）
0 0 0 0 0 0 0
1 0 0 1 0 0 ×　2 0
神出設計（北海道）

BULK（愛知）
0 0 0 0 0 0 2
0 0 0 0 0 0 0　2 0
秋田雷電（秋田）

上長磯町ウイングス（群馬）
0 0 0 1 0 0 0
0 0 0 0 0 0 0　1 0
AROSE（兵庫）

旭食品野球部（高知）
0 0 0 0 0 0 2
0 0 0 0 0 1 0　2 1
正木工業（熊本）

グレース浜すし（高知）
0 0 0 0 0 0 0
0 0 0 1 1 3 ×　5 0
万騎が原ナイツ（神奈川）

ゴロリーズ（鹿児島）
0 1 0 0 0 0 0
0 2 0 0 0 0 ×　2 1
渡辺写真館（奈良）

旋風クラブ（長野）
0 0 0 0 0 0 4
0 0 0 0 0 0 3　4 3
色麻町あたごクラブ（宮城）

ナタリース（栃木）
0 0 0 0 1 0 0
1 0 0 0 1 1 ×　3 1
フェローズ（京都）

内野ゴンズ（新潟）
0 0 1 0 0 0 0
2 4 0 0 0 0 ×　6 1
ザ・セクシャルズ（岡山）

巽クラブ（兵庫）
0 0 0 0 0 0 1
0 0 1 0 0 0 1　2 3
鹿手クラブ（埼玉）

キャプテンニッポン（徳島）
0 0 0 0 0 0 0
0 3 0 0 1 0 ×　4 0
MARKEES（愛知）

ユナイテッドアーミー（福岡）
1 7 1 0 0 1 0
0 0 0 0 1 0 0　1 10
旭BC（秋田）

YOISPO NEISHI（北海道）
0 0 0 0 0 0 0
3 0 0 0 8 0 ×　11 0
梅田学園ベースボールクラブ（宮崎）

三光電気シャルマン（東京）
0 2 0 0 1 2 1
0 0 0 0 0 0 0　6 0
停主（兵庫）

MIDOLE NAME（鳥取）
0 0 0 0 0 0 0
2 1 0 2 1 3 ×　9 0
豊田クラブ（愛知）

KODAIII（青森）
0 3 0 0 0 0 4
2 0 4 2 0 0 ×　8 7
エンゼルス（愛媛）

【二回戦】

BULK（愛知）
0 0 0 0 0 1 0
1 0 3 1 0 0 ×　5 1
神出設計（北海道）

旭食品野球部（高知）
0 0 1 2 0 0 0
0 0 0 0 0 0 0　3 0
上長磯町ウイングス（群馬）

渡辺写真館（奈良）
0 1 0 0 1 0 0
0 0 0 3 1 0 ×　4 2
万騎が原ナイツ（神奈川）

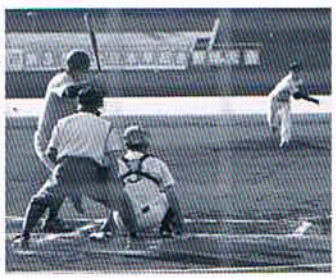
フェローズ（京都）
0 0 0 5 0 0 0
0 1 0 0 3 1 1×　6 5
旋風クラブ（長野）

巽クラブ（兵庫）
0 0 3 0 3 1 3
0 1 0 0 0 3 0　4 10
ザ・セクシャルズ（岡山）

ユナイテッドアーミー（福岡）
0 0 2 0 0 0 0
1 0 0 0 0 0 0　1 2
MARKEES（愛知）

梅田学園ベースボールクラブ（宮崎）
0 2 0 0 0 0 0 4
0 0 0 0 2 0 0 2　4 6（特別延長）
三光電気シャルマン（東京）

エンゼルス（愛媛）
0 0 0 0 0 1 1
0 0 1 0 0 2 ×　3 2
豊田クラブ（愛知）



【準々決勝】

旭食品野球部（高知）
0 0 0 0 0 0 0
0 0 0 2 0 0 ×　2 0
神出設計（北海道）
（旭）小川―氏原
（神）吉岡―和田
二塁打　佐藤（神）

万騎が原ナイツ（神奈川）
1 0 0 3　7
2 0 0（キケン）　0
旋風クラブ（長野）
（万）三村・豊島―板垣
（旋）山口―小山

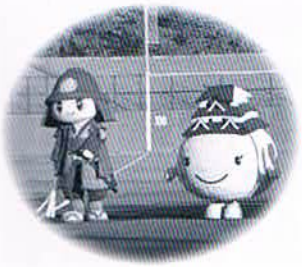
巽クラブ（兵庫）
0 0 1 0 0 2 2
0 0 2 0 0 0 0　2 5
ユナイテッドアーミー（福岡）
（巽）原田―松村
（ユ）新宅―白木

梅田学園ベースボールクラブ（宮崎）
1 0 0 0 0 1 1
0 1 0 2 1 0 ×　4 3
豊田クラブ（愛知）
（梅）阿南・出水―押川
（豊）平井―豊田
本塁打　水野（梅）
三塁打　下丸（梅）

【準決勝】

神出設計（北海道）
0 0 0 0 0 1 0
1 0 0 0 0 1 1×　2 1
万騎が原ナイツ（神奈川）
（神）伝福・西村―和田
（万）黒島―板垣
二塁打　石田（万）

豊田クラブ（愛知）
0 0 1 4 0 0 0
3 0 0 0 0 0 0　3 5
巽クラブ（兵庫）
（豊）平井―豊田
（巽）山下・原田―松崎
二塁打　水野（豊）
原田（巽）



大会を顧みて

西日本早起き野球協会会長
兵庫県早起き野球協会理事長
吉田正信

全国北は北海道・南は九州各県の予選を勝ち抜いて「第35回全日本早起き野球大会」に出場されました32チームの熱戦が、晴天に恵まれ無事成功の内に終了することができました。これは一重に全日本協会の役員・審判・協賛会社（サッポロビール株式会社）の方々のお陰だと深く感謝します。

兵庫県の開催は第16回大会（姫路）・第25回大会（尼崎）と3回目でした。当時の全国大会経験者がいなく、私に対するプレッシャーは言葉では言い表せないものでしたが、幸い姫路役員・理事・各チームからの応援・各会場に整復師の先生の配置により大会がスムーズに行こなえましたことは、大変ありがたく感謝いたしているところでございます。

開会式「黒田勘兵衛」「しろまる姫」の先導、そして兵庫県播磨高校の女生徒の皆様方のプラカード、姫路消防音楽隊の皆様で華を添えていただきました。又交流会も「でんでん太鼓」「神戸サンバの踊り」で大変な盛り上がりで、皆さんに大変喜んで頂いたと思います。大会も旭食品の三連覇はなりませんでしたが、決勝戦は名門同士の対決で「万騎が原ナイツ」（神奈川）1対0豊田クラブ（愛知）の熱戦で幕を閉じましたが、次の関東大会に夢と希望と感動を与えた大会だったと思います。

これからも全日本早起き野球協会の35年の歴史・足跡の重みを十二分に感じながら、熱くなりすぎず、流されずに、こつこつと一歩ずつ前進していきたいと思います。また、大会中不行き届きな点が多々あったと思いますが、お許しいただきたいと思います。

最後になりましたが、全日本早協会の皆様・サッポロビール株式会社・関係各位に感謝を申し上げます。

第35期総会

サッポロ社協賛継続・早起きと共に

生涯野球を充実し組織拡大を図る

全日本早起き野球協会の第三五期定期総会は、二月十五日(日)東京都中央区銀座のライオンビルに全国から選出された六十四が出席し開催した。

協会創立以来長年にわたりご支援をいただいてきたサッポロビール株式会社様から協賛継続の発表があり、サッポロ応援に邁進してきた多くの参加者から大きな拍手が起こった。役員改選により、新会長に宮入昭夫氏(長野)理事長に寺田壽氏(北海道)が選ばれた。

総会成立宣言の後、群馬県選出の柿沼孝理事を議長に選び次の議案を承認可決した。

26年度事業報告

一、事業　①第二十回記念全日本選抜早起き野球大会　群馬県前橋市於五月九日～十一日　前橋市民球場他3会場　優勝　Makees(愛知)

②第三十四回全日本早起き野球大会熊本県熊本市於十一月一日～三日　藤崎台県営野球場他7会場　優勝　旭食品野球部(高知)

二、刊行　早起き野球だより№62号の発行

三、営業協力　サッポロビール協力ポイント数10、214ポイント

26年度決算

事務局報告どおり

27年度予算

事務局原案どおり承認

27年度実施事業

①第三十五回全日本早起き野球大会兵庫県姫路市於十月二日～四日　姫路市民球他7会場　参加三十二チーム　登録期日　七月三十一日　抽選　八月一三日

協賛会社支援について

1基本的協力体制

①我らサッポロ応援団　目標会員数千人

②チームの可視化・応援するチーム目標千チーム

重点的取組

①営業情報ポイント目標の達成。1万3千P

②早起き野球各支部とサッポロ社地区担当部署が共に営業協力の仕組み作りを推進する。

③ポジョレヌーボ購入(目標2千本)

④飲料社自販機、設置推進の情報提供のお願い。

今後の全日本大会開催地

全日本大会

28年36回東京都

29年37回新潟県

30年38回東北

役員改選新役員

会　長　宮入昭夫(長野)

理事長　寺田　壽(北海道)

専務理事　田上重之(徳島)

事務局長　佐藤清一(秋田)

事務局　城下弘幸(青森)

監　事　吉光公徳(大分)

吉田正信(兵庫)

協賛社の役職と連絡先

サッポロビール株式会社

代表取締役社長　尾賀真城

営業本部法人営業部長　高見　毅

営業本部法人営業部

専任部長　高品敏美

東京都渋谷区恵比寿4－20－1

電(03)5475－8065

F(03)5423－9135

ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社

自販機事業本部法人営業統括部

東日本支店長　竹内春夫

〃　営業部長　印出貴彦

東京都江東区木場1－5－25

深川ギャザリアタワー5階

電(03)5634－1517

F(03)5634－2142

一筆啓上

副会長
石井和夫

年月の流れは本当に早いもので、全国夏の高校野球大会も今年で百年目、私たちがまだ生まれる前からの大会が今も国民の皆さんから愛され、続いているということは誠に素晴らしいことと思います。さて、今回の大会は特に目を瞠るものがありました。それは、東北球児の活躍です。残念ながら仙台育英高校は決勝で負けてしまいましたが、その戦いぶりは全国の高校野球ファンを感動させたのではないでしょうか。11度目となった優勝旗の白河越えへの挑戦には破れましたが、その夢がかなうのもそう遠くないと確信した今大会でした。さらに大会期間中、猛暑であったにも関わらず、ファインプレーが随所に見られ、私も感動いたしました。

また、全国高校軟式野球大会では、我が秋田の能代高校が大活躍し、県民一丸となって応援いたしましたが、残念ながら準優勝という結果に終わりました。しかしながら、この活躍は仙台育英高校と同様、今後大いに期待できるものと思います。

一方、全日本早起き野球大会においては、東北のチームが最近優勝からだいぶ遠ざかっていることが誠に残念です。

東北の協会も平成28年には40周年を迎えることもあり、今後はますます一丸となって、東北チーム優勝の夢に向かってサポートして参りたいと思います。

二人のカメラマン

早起き野球には、二人のカメラマンが居る。

全日本大会や全日本総会時にカメラを持った役員があっちこっちと忙しくカメラ片手に走り回っているのをご存知でしょうか。

大会や総会の状況を写真で記録してくれているのです。それは、この「早起き野球だより」の記事になったり、総会資料になったりと貴重な記録として、残っています。

特に全日本大会には、二人とも必ず参加していただき写真を撮っていただいて隠れたヒーローと言って良いと思います。本当にありがとうございます。

津久家英雄理事
(青森)

塩澤和美理事
(千葉)

会長就任あいさつ

全日本早起き野球協会
会長　宮入昭夫

平成27年2月15日の全日本早起き野球協会定期総会において、会長というとてつもない要職を仰せつかり、一瞬に私の時間が止まってしまいました。大勢の皆様方の拍手で気が戻り、高口清之輔前会長の素晴らしさ、長きにわたり会長職を席巻されてきた現吉松俊一名誉会長、そして初代会長の鈴木登さんの功績が頭の中をよぎりました。

不安がいっぱいの中でお受けすることになりましたが、全国八千チーム、十五万人にものぼる選手の皆さん達と一緒に運営を行うことに、その責任の重大さに身が引き締まる思いでございます。歴代会長の功績を思いだし、役員及び会員のご意見ご要望を伺いながら協会の発展及び早起き野球の更なる発展に取り組む所存であります。

生活環境の変化や経済状況の変動により、各連盟、各協会におきましては、チーム数の減少、及び役員、審判の高齢化、サマータイム等、課題を一つ一つ解決いこうと決意を固めているところでございます。

早起き野球は地域密着が本来の姿であります。大会が開催される各地域、各連盟、協会におかれましてもそれぞれに地域の特色を出され大会を盛り上げて頂いていることに感謝を申し上げます。更に各企業、団体様にもスポンサーとしてのご支援、ご協力に感謝申し上げます。これからも皆様のご支援、ご協力に恥じない運営をスタッフと共に取り組みながら全国の野球愛好者のよりどころになる協会を目指していく所存です。

健康で野球の出来る楽しみ、試合等を通しての親睦野球はいいものです。

私も野球を楽しみながら協会の発展に尽力をかたむけていくつもりです。どうかよろしくお願いいたします。

理事長就任にあたって

全日本早起き野球協会
理事長　寺田　壽

本年度の総会においての役員改選により、図らずも理事長就任の要請を受け経験不足ではありますが、各位のご指導を戴くことをお願いしてお受けすることとなりましたが、責任の重大さに身の引きしまる思いを感じています。

前任の理事長　高口、阿部両氏には到底力は及びませんが、皆様のご指導を戴き私も成長して行きたいと思います。

早起き野球は地域に密着して成長して行くのが本来の姿であります。その地域で45年間運営等に携わり、経験して得たものを少しでも全日本協会の運営に寄与出来たらと思います。

昨今、早起き野球界では、少子化・参加選手の高齢化等々社会環境の変化に依り参加登録数の減少が続いている現状にあり各地区の経営基盤が大変厳しい状態にあります。このような時期に全日本協会として今後どの様な施策が必要なのか、その課題に取り組んでいかなければならないと思います。

その意味でも私なりに全日本の発展のために微力を尽くしてまいりますので、先輩諸氏のご指導とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

野球一筋・生涯奉公

全日本早起き野球協会
副会長　東家恭一

全日本早起き野球協会所属の選手及び役員の皆様、お元気ですか。

昨、平成26年、当地熊本で開催の「全日本早起き野球大会」楽しんでいただけましたでしょうか。さて私、この度、全日本早起き野球協会の副会長を拝命し、身に余る大役に責任の重さを痛感しております。

これまでには、全日本軟式野球連盟熊本県副会長を務めさせて頂いた経験がございます。その他現在、熊本社会人軟式野球リーグ連合会会長、熊本市民早起き野球大会副会長（会長は熊本市長）、熊本おはよう野球大会会長、読売トウヤ杯大会会長、そして熊本県早起き野球協会会長と永年軟式野球発展にご奉仕させていただいております。

本業はバッティングをメインとした総合スポーツセンターを熊本市に四店舗、八代市、佐賀市に一店舗づつ運営し、生涯野球をテーマに幅広い年齢層の野球人の練習の場として親しまれ、やがて操業四十年目を迎えようとしております。

他にも、元プロ野球選手を塾長に、主に小中学生を対象とした野球塾を併設し多くの子供達が学んでおります。

私が子供の頃、男の子の憧れと言えばプロ野球選手、誰もが夢中になった野球というスポーツ。例外なく私も野球に夢中になったものでした。その頃からの野球との縁も六十有余年、年齢と共に気力、体力にも些か衰えを感じ始めております。しかしながら、この大役をお引き受けした以上、微力ではありますが、協会発展の為に精一杯尽くす所存でございます。今後ともどうぞ皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、常日頃より本協会を物心両面から支えていただいているサッポロビール様に改めて感謝申し上げご挨拶といたします。

早起き野球、勝っても負けても
サッポロビール！

全日本選抜早起き野球大会優勝旗が返還される

第二十回大会優勝Ｍａｒｋｅｅｓから返還

高校野球に選手権大会と選抜大会と2つの異なる大会があるなら、早起き野球にも選抜大会を創ろうと、平成7年に横浜スタジアムで第1回大会が開催された。それから20年、東日本大震災の影響で第17回大会が開催することができなかったが、それ以外は20回の前橋大会まで毎年開催されてきたが、資金難など諸般の事情により平成27年から休止となった。

全日本選抜早起き野球大会歴代決勝戦績

回数	年度	開催地	開催日時	優勝チーム	スコア	準優勝チーム	チーム参加数
1	平成7	神奈川県横浜市	6月17・18日	富士見サンデー（埼玉県富士見市）	2−1	バトラー（神奈川県横須賀市）	8
2	平成8	愛知県小牧市	5月25・26日	ラーメンくるまや（埼玉県熊谷市）	2−1	ライナーズ（長野県日田町）	16
3	平成9	新潟県新潟市	6月21・22日	クレージュ（三重県四日市市）	5−2	ターボウイングス（栃木県栃木市）	16
4	平成10	長野県小諸市	5月30・31日	㈱栃原製茶（北海道小樽市）	13−2	ファイターズ（群馬県前橋市）	16
5	平成11	高知県高知市	5月7・8・9日	旭食品クラブ（高知県高知市）	3−2	植野ブラウニー（高知県高知市）	16
6	平成12	秋田県雄和町	5月27・28日	一球倶楽部（宮城県石巻市）	3−0	菜華倶楽部（徳島県徳島市）	16
7	平成13	長野県長野市	5月26・27日	鳥鎌ダックス（神奈川県横浜市）	3−2	一球倶楽部（宮城県石巻市）	16
8	平成14	富山県富山市	6月15・16日	石黒建設工業（秋田県秋田市）	3−0	塩釜セルラー（宮城県多賀城市）	16
9	平成15	北海道小樽市	6月7・8日	福岡銀行（福岡県福岡市）	3−2	石黒建設工業（秋田県秋田市）	16
10	平成16	徳島県阿南市	5月22・23日	ＴＨクラブ（長野県大町市）	7−3	笹木産業（北海道滝川市）	16
11	平成17	岐阜県岐阜市	5月21・22日	居酒屋ししゃ丸（沖縄県那覇市）	5−3	やんちゃ坊（愛知県名古屋市）	16
12	平成18	宮城県松島町	5月21・22日	神出設計（北海道千歳市）	9−0	くるまや（北海道室蘭市）	16
13	平成19	神奈川県横須賀市	5月19・20日	亭主（兵庫県姫路市）	3−2	神出設計（北海道千歳市）	16
14	平成20	宮崎県宮崎市	5月17・18日	ホワイトソックス（神奈川県川崎市）	4−0	スーパーマジック太平（鳥取県米子市）	16
15	平成21	北海道小樽市	6月12・13・14日	メモリアル伊都国スフィンクス（福岡県前原市）	3−1	ホワイトソックス（神奈川県川崎市）	16
16	平成22	徳島県徳島市	5月21・22・23日	ＡＲＯＳＥ（兵庫県姫路市）	抽選	キャプテンニッポン（徳島県徳島市）	16
17	平成23	青森県八戸市	東日本大震災のため中止				16
18	平成24	愛知県一宮市	5月25・26・27日	株式会社ジーズ（愛知県名古屋市）	5−0	グランプリ（徳島県阿南市）	16
19	平成25	青森県八戸市	5月24・25・26日	ファイターズ（群馬県前橋市）	4−3	Ｇ−ＭＡＸ（神奈川県横浜市）	16
20	平成26	群馬県前橋市	5月9・10・11日	Ｍａｒｋｅｅｓ（愛知県名古屋市）	5−0	梅田学園ベースボールクラブ（宮崎県宮崎市）	16

秋田の500歳野球

秋田に面白い野球がある。出場チームの年齢の合計が五百歳以上であること、一度ベンチに退いた選手が何回でも再出場ができる。

イニングは5回戦、投手本塁間は、16m、塁間は23mと少年野球よりも近い。これだと生涯現役を目指す野球大好き人間にとって出場し易い。

秋田の五百歳野球大会のきっかけは、昭和53年に実戦に参加する機会がなく観戦だけに終わっている50歳以上のOBたちが集まって行った紅白試合からだそうです。

翌54年7月に町内外の反響の大きさに力を得て「第1回大曲仙北五百歳野球大会」を開き自信をつけた選手の間から「今度は全県大会を開催したら」との声が上がり、同年10月20日、秋田魁新報社が主催となり、少年野球発祥の地と言われる旧神岡町の主幹で、記念すべき「第1回全県五百歳野球大会」が行われたのです。

この時、わずか8チームの出場で産声上げた「全県五百歳野球大会」が、今では180チーム以上、選手400人が参加する大会に育っています。

軟式野球の全国大会は一般の選手権大会から退くと、40歳以上を対象とした「マスターズ野球大会」、60最以上を対象とした「還暦野球大会」等があります。

現在、現役選手でプレーするには、50歳代を主力とした大会が全国的に少ない状況にありますが五百歳野球は50代を主力としながらも9人の年齢の合計が五百以上という特別ルールから、それぞれの戦略に合わせて50〜80歳代まで幅広い年齢層でチーム編成されております。

五百歳野球は健康で体が動く限り、「生涯現役」を貫くことができますので、まさに夢見る「親父たちの甲子園」となり得ます。

そんな五百歳野球に、新たに全国大会ができるそうです。平成29年7月に、五百歳野球発祥の地秋田県大仙市で開催の予定です。

早起き野球協会としても同じ野球を愛する者として援したいですね。

北海道ブロック

北海道朝野球スタート

29年ぶり苫小牧市で開催
神出設計3年連続10回目の優勝
―地区代表22チームが出場―

力強く宣誓する北海道クリーン開発の石川（5日午前）

第45回を迎えた北海道朝野球大会（全日本早起き野球北海道ブロック予選）が9月4日(金)5日(土)6日(日)の3日間、苫小牧朝野球連合会主管のもと苫小牧市を主会場に22チームが出場し開催した。

開会式前日の4日には役員・審判員・開催地役員による運営合同会議、監督・主将会議を行い、引き続きサッポロビール、地元来賓を迎え交流会が開催された。

5日早朝より開会式を行い市営緑ケ丘球場をメインとし1市3町の野球場でトーナメント18試合が行われた。

大会3日目は準決勝戦2試合が行われたが、両試合とも投手戦となり1点差での決着となる好試合であった。決勝戦は3連覇を狙う千歳地区代表神出設計と第41回大会優勝チーム札幌アカシヤ地区代表フェニックスが対戦、規程の9イニングで決着つかず、タイブレーク規程による決着となった。

▽準決勝戦（清水球場）

キング運送（札幌日刊）	0 0 0 0 0 0 0	0
神出設計（千歳）	0 0 0 0 1 0 0	1

▽準決勝戦（緑ケ丘球場）

明円グループ（滝川）	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0
フェニックス（札幌アカシヤ）	0 0 0 0 0 0 0 0 1×	1

▼決勝戦（緑ケ丘球場）

フェニックス（札幌アカシヤ）	0 0 0 0 0 0 0 0 0 2	2
神出設計（千歳）	0 0 0 0 0 0 0 0 0 3×	3

第45回大会成績

優　勝　神出設計
準優勝　フェニックス
第3位　キング運送
第3位　明円グループ

第45回大会個人賞

最優秀選手賞
西村　優希選手（神出設計）
優秀選手賞
高橋　卓郎選手（神出設計）
優秀投手賞
伝福　佳貴選手（神出設計）
敢闘賞
荒井　修光選手（フェニックス）
打撃賞
阿部　英裕選手（フェニックス）
最優秀監督賞
石塚　達也監督（神出設計）
優秀監督賞
川村　宏二監督（フェニックス）

サッポロビール協賛賞品を受けた優勝・準優勝チーム

生涯現役

道連盟加盟地区の40歳以上の選手でつくる朝野球チームが一堂に集い、第25回北海道一生涯野球大会が6月27・28日の両日、滝川朝野球連盟主管により石狩川野球場で開催した。

滝川市での大会は、20回目の主管で各地より20チームが出場、熟練の技をぶつけ合う白熱した試合を展開した。試合方式はトーナメントで敗者復活を採用、各チームは様々な作戦で試合を楽しんだ。第1試合目の夕刻から滝川市長、道議会議員、サッポロビールほか地元野球関係者を迎え、役員・選手・審判団による交流会が地元松尾ジンギスカンで300人が集い「勝っても負けてもサッポロビール」で親睦を深めた。

▽第25回大会成績

Aブロック
優　勝　キング運送
準優勝　リトルラウンジ凛
Bブロック
優　勝　千歳クラブA
準優勝　フォーティーズ
Cブロック
優　勝　札幌迷球会
準優勝　江別フィフティーズ

○第26回大会も滝川で開催する事が申し合わされた。

負担金・参加料改定の方向へ
大会運営も除々に見直し

北海道朝野球連盟（会長寺田壽）は加盟地区の登録チーム数の激減に伴い、平成28年度より負担金を大幅に引き下げる（平均33％）大筋について、9月4日の役員・審判合同会議で方向性が示された。

道連盟最盛期（昭和60年代）の加盟地区登録チーム数は、2100チームを超え負担金もその数を基に設定されていたが、朝野球を取りまく社会環境の変化から地区のチーム数が減少を続け27年度では4分の1の500チームに激減した。

こうした背景から北海道大会への役員・審判員の参加派遣が財政的に厳しく、大会運営に参加する人員も少なくなる傾向にあり地区の加盟持続のため、一昨年より改革が検討課題となっていた。

一方チームの参加料は、平成13年に改定され14年間据え置きになっていたが、開催地の費用負担を少しでも軽減することから現行の20％に引き上げ30、000円とする案が示された。

この改定案は平成28年度の総会に提案し向う3年間の期限付で決定する予定。

東北ブロック

第39回 東北早起き野球大会

秋田雷電（秋田県）連覇

第39回東北早起き野球大会が、青森県八戸市の東運動公園野球場を主会場にして開催されました。

おりからの関東・東北豪雨の影響で前日まで八戸地方も大雨、大会の開催があやぶまれましたが、当日は、皆さんの熱意が通じて晴天となり、大会を実施することができました。

今年は、来年度から加盟予定の福島県から1チームオブザーバーとして参加、13チームでの大会となりました。

ポッカサッポロフード&ビバレッジ㈱澤田昌利様ピッチャー・サッポロビール㈱高品敏美様バッターの始球式で試合開始。初日は8試合が行われ、青森県の2チーム、秋田県の2チーム準決勝に勝ち残りました。

夜は恒例の交流懇親会が八戸ワシントンホテルで開催され、100人を超える参加をいただき、曳地武一専任部長の「サッポロビール式乾杯」の音頭で盛大に開催され交流を深めました。

決勝は、秋田県の秋田雷電と青森県のPHENIXとの対戦となり、7対4で秋田雷電が連覇、3度目の優勝を成し遂げました。

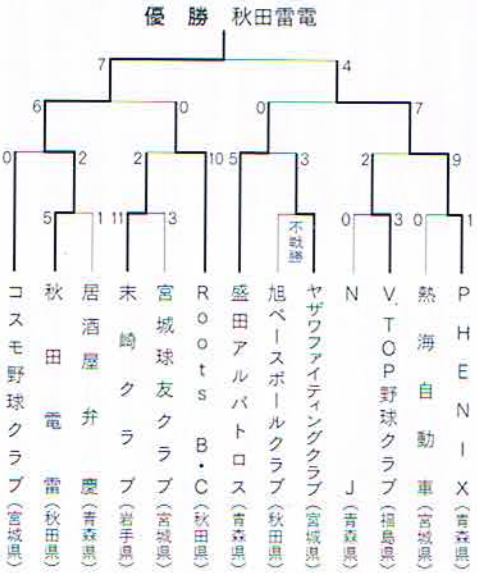
東北からは10年以上全国大会での優勝がありません。秋田雷電チームは第36回全日本大会に東北代表として出場しますが、是非優勝旗を持ち帰ってもらいたいと願っています。

優勝の秋田雷電

優勝　秋田雷電（秋田県）
準優勝　PHENIX（青森県）
第3位　ROOTS B・C（秋田県）
盛田アルバトロス（青森県）

【個人賞】
最優秀選手賞　舟木　拓也（秋田雷電）
優秀選手賞　浜田　拓実（秋田雷電）
大高　翼（秋田雷電）
鈴木　光（PHENIX）
山本　温（PHENIX）
最優秀監督賞　佐藤　秀一（秋田雷電）
優秀監督賞　佐々木潤也（PHENIX）

第39回 東北早起き野球大会結果



第12回 東北生涯野球大会

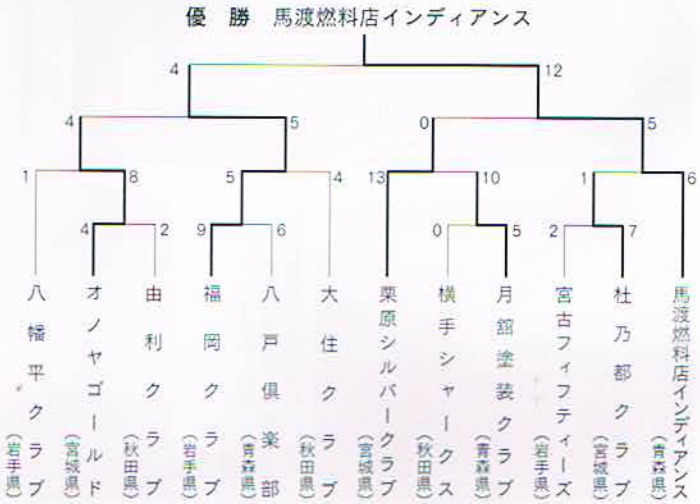
馬渡燃料店インディアンス優勝!!

☆日時
平成27年10月10日(土)～11日(日)

優勝　馬渡燃料店インディアンス
準優勝　福岡倶楽部

【個人賞】
最優秀選手賞　伊藤　孝明（馬渡燃料店）
優秀選手賞　田口　敏幸（福岡倶楽部）
勝利監督賞　馬渡　直久（馬渡燃料店）

第12回 東北生涯野球大会結果



第2回 東北還暦野球大会

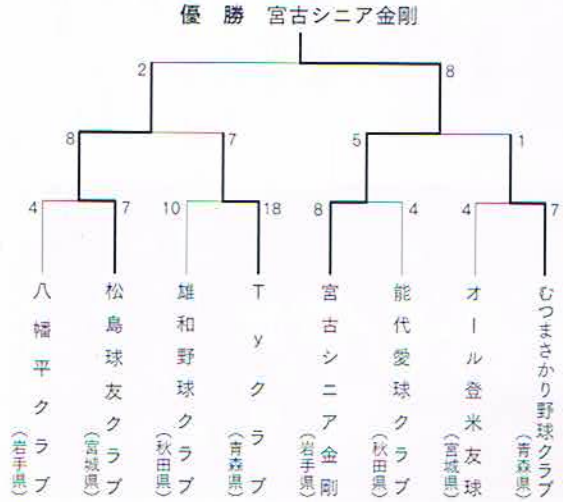
宮古シニア金剛優勝!!

☆日時
平成27年9月5日(土)～6日(日)

優勝　宮古シニア金剛
準優勝　松島球友クラブ
第三位　むつまさかり野球クラブ

【個人賞】
最優秀選手賞　斉藤　正（宮古シニア金剛）
優秀選手賞　磯田　昭平（松島球友クラブ）
勝利監督賞　大槌　栄司（宮古シニア金剛）

第2回 東北還暦野球大会結果



関東ブロック

コマンドクラブ（埼玉県代表）優勝

第33回　関東早起き野球大会　神奈川大会

第33回関東早起き野球大会が神奈川県に於いて、各県代表の16チームの出場で開催されました。

開会式及び交流会は5月24日ロイヤルホールヨコハマを会場に午後5時より来賓をお招きしチーム代表者、役員、審判員、地元役員が出席、盛大に開催しました。開会式では歓迎のことばを、川崎市早朝野球連盟顧問の杉山信夫県会議員様より、来賓祝辞をサッポロビール株式会社横浜統括支社専任部長　北井久美様よりそれぞれ賜りました。神奈川県代表の野毛オールスターズ　小柳誠一郎主将が力強く熱戦の決意を宣誓し開会式を終了、その後交流会に入りました。交流会では恒例の乾杯の発声に合わせて出席者全員でサッポロと声高らかに、ご唱和して祝宴が始まり、サッポロビールが潤滑油となり有意義な交流会が出来ました。

試合は、5月30日、31日の2日間、俣野公園横浜薬大スタジアムを主会場に、横須賀スタジアム、川崎市営池上球場、サーティーフォー保土ケ谷球場の4会場で熱戦が繰り広げられました。決勝戦は埼玉県勢の戦いとなり、28回千葉大会で準優勝している、コマンドクラブが「出雲」を破って優勝に輝きました。

試合結果及び受賞者

【決勝戦】

出雲（埼玉）　0000000　0
コマンドクラブ（埼玉）　0020012×　5

【準決勝戦】

出雲（埼玉）　0400100　5
野毛オールスターズ（神奈川）　0000201　3

コマンドクラブ（埼玉）　5001001　7
南中野オールマックス（東京）　0000000　0

二回戦

野毛オールスターズ（神奈川）　0110020　13
東仲町商店会（埼玉）　2000010　3

出雲（埼玉）　0061110　9
珈光ヒアーズ（神奈川）　1000031　5

南中野オールマックス（東京）　0002023　7
ダンディーズ（神奈川）　0100203　3

横浜バスターズ（神奈川）　0000100　1
コマンドクラブ（埼玉）　1000001×　2

一回戦

カワブチスポーツ（東京）　1120000　4
東仲町商店会（埼玉）　0101400×　6

野毛オールスターズ（神奈川）　0000000　0
傾奇者（栃木）　0001000×　1

出雲（埼玉）　1002401　8
ジャパン（千葉）　0000000　0

珈光ヒアーズ（神奈川）　6000100　7
H—19（群馬）　0000100　1

木更津ダイナミックスター（千葉）　0000100002　3
南中野オールマックス（東京）　0001000003　4

ダンディーズ（神奈川）　2020304　11
鹿沼ケツバット（栃木）　0000301　4

横浜バスターズ（神奈川）　0005000　5
八幡屋（千葉）　0001120　4

コマンドクラブ（埼玉）　4303010　10
ホップ野球クラブ（群馬）　1000001　1

表彰

★団体

優勝　コマンドクラブ（埼玉）
準優勝　出雲（埼玉）
第三位　野毛オールスターズ（神奈川）
南中野オールマックス（東京）

★個人

最高殊勲選手賞　大野　雅人（コマンド）
最優秀選手賞　林　友之（コマンド）
白土　幹久（コマンド）
田中、堅也（出雲）
福山　勝也（出雲）
最優秀監督賞　松尾美智緒（コマンド）
優秀監督賞　蒲田　健二（出雲）

次の34回大会は千葉県で開催予定です。

斎藤関東早起き野球協会会長より優勝旗の授与

サッポロビール株高見毅部長様より黒ラベルを優勝チームに贈呈

コマンドクラブチーム

中部日本ブロック

BRONZE（ブロンズ）圧倒！

初出場初優勝

第32回 中部日本早起き野球大会

5月23日早朝、快晴のハードオフエコスタジアム新潟に中部各県から24チームが終結した。東海地区から新潟まで500キロ近くを運転し、少しの休憩のあと試合に臨むのだから、よほど野球が好きでなければできることではない。

開会式は、選手入場、会長、協賛団体あいさつ等が行われ、選手宣誓では新潟市代表ダブラーズ山田和行主将の「早起き野球、勝っても負けてもサッポロビール。試合がなくてもサッポロビール」が大いに沸かせた。また演奏をしてくれた日本文理高校吹奏楽部の演奏が素晴らしかったが、全国大会で上位に入る常連校と聞けば納得。

恒例となっている始球式は打球がフェアーゾーンに飛ぶまで行われる。新潟、山内会長の調子が悪かったのか高橋理事長に10球も投げさせ今までで一番長い始球式となったが、これもご愛嬌というべきか。

初日は1、2回戦が行われ僅差のゲームがほとんどで各地区の力の接近を感じさせた。その中でも圧倒的な力を見せつけて優勝したBRONZEを、あと一歩まで追い込んだダブラーズの健闘には拍手を贈りたい。

200人近い参加で行われ交流会には新潟限定のサッポロビール「風味爽快ニシテ」が出されたが文字どおり風味爽快な味だった。

レセプションで披露された「松浜太鼓」は40年の歴史を誇りアメリカ、中国等8回の海外遠征を行っているだけに、圧倒されるほど迫力のある演奏だった。

交流会では毎回ことだが対戦したチームが同じテーブルで昼間の試合を肴にビールを酌み交わし話を弾ませるが、これも早起き野球の特徴の一つかと思っている。交流会の後は各チームそれぞれに新潟の夜を楽しんだことだろう。

24日は準々決勝、準決勝、決勝戦が行われたが優勝したBRONZEの力に圧倒された一日になってしまった。

新潟市で大会を開くのは3回目になるが、過去2回と同様、完璧に近い運営は見事というしかなく事務局にとってこれほどありがたいことはない。何もしなくていいのだから・・。

【準決勝】

豊田クラブ（愛知）
0 1 0 0 0 0 0 0 1
0 0 0 3 0 4 × 7
BRONZE（愛知）

穂積愛球（長野）
0 0 8 0 2 10
0 0 0 0 0 0
レボリューションズ（長野）

【決勝戦】

BRONZE（愛知）
3 4 1 0 0 2 0 10
0 0 0 0 0 1 0 1
穂積愛球（長野）

（B）川田、村田―井坂
石田
（穂）中山、能登谷、志摩
―上原
本塁打　高島、川田（B）

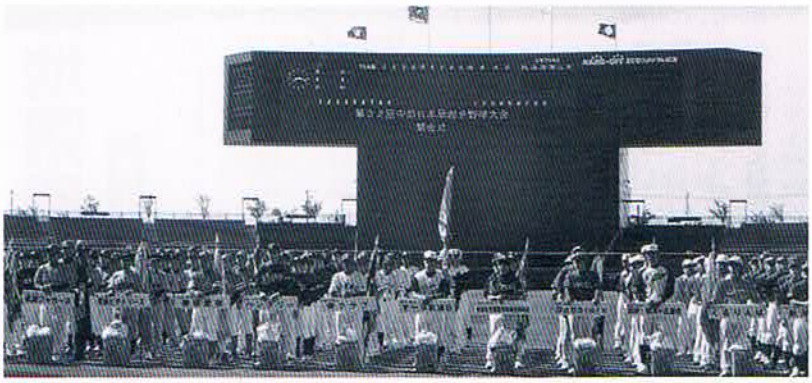
◇個人賞

最優秀選手賞
川田　徹（BRONZE）

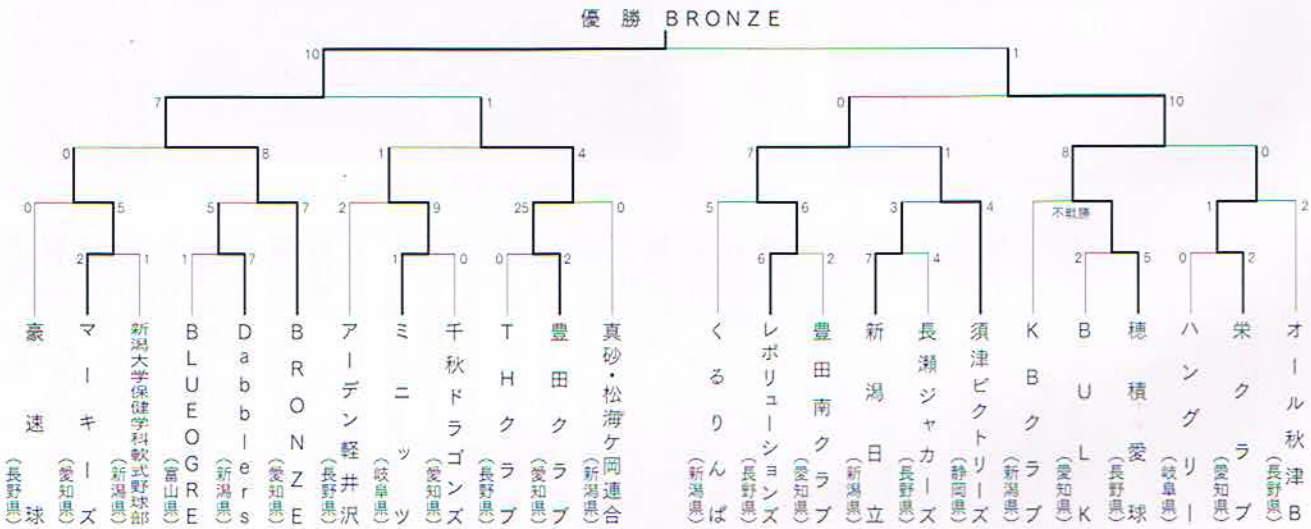
優秀選手賞
松本　柊一（BRONZE）
能登谷政史（穂積愛球）
平井　洋丞（豊田クラブ）
宮沢　良一（レボリューションズ）

最優秀監督賞
今井　勝彦（BRONZE）

優秀監督賞
田島　健治（穂積愛球）



第32回　中部日本早起き野球「新潟大会」結果



西日本ブロック

ライフフォークス（兵庫）初優勝

第三十一回 西日本早起き野球大会

第31回西日本早起き野球大会は、5月23日・24日の2日間奈良県鴻ノ池球場を主会場に、西日本各地の激戦を勝ち抜いた12チームが参加し熱戦を繰り広げた。

開会式では、吉田正信新会長が、はじめに、4月に亡くなられた安井雅道前会長への感謝を述べた。そして、「野球はたくさんの方のおかげで試合ができます。感謝の気持ちを忘れずに。」とあいさつし、試合がスタートした。

試合は、タイブレークとなった準決勝戦、決勝戦をはじめ、4試合すべて1点差の接戦を制した、ライフークスが初優勝を飾った。

［決　勝］

AROSE（兵庫）
0000000 1
0000000 2× 1
ライフフォークス（兵庫）

（A）水谷信—高見
（ラ）土井—浅田

［準決勝］

GOTS（鳥取）
2000000 0
1010000 1× 2
ライフフォークス（兵庫）

（G）藤井拓—藤井晃
（ラ）土井—浅田

スーパーシニアクラブ（山口）
000000 0
30010× 4
AROSE（兵庫）

（ス）梶田—宗野
（A）水谷信—高見

1回戦

AROSE（兵庫）5—4クールス野球ク（滋賀）▽ワンモアー（京都）2—1きらくパワーズ（奈良）▽ライフフォークス（兵庫）1—0ミラクル（徳島）▽GOTS（鳥取）8—0渡辺写真館（奈良）

2回戦

東武ブロッサム（岡山）0—1AROSE（兵庫）▽ライフフォークス（兵庫）1—0高知自動車学校（高知）▽ワンモアー（京都）3—4スーパーシニアクラブ（山口）▽GOTS（鳥取）4—0三井ホーム（愛媛）

優　勝　ライフホークス（兵庫）
準優勝　AROSE（兵庫）
第3位　GOTS（鳥取）
スーパーシニアクラブ（山口）

最優秀選手賞
土井　玉人（ライフフォークス）

優秀選手賞
金沢　達也（ライフフォークス）
水谷　信哉（AROSE）
内田　雅史（GOTS）
長江　知政（スーパーシニア）

優勝　ライフフォークス

地鶏庵（高知）二年連続優勝

第十九回 西日本生涯野球大会

第19回西日本生涯野球大会は、7月18日、19日の両日、山口県山陽小野田市で開かれた。

今回は、12の参加チームが四つのリーグに分かれ、リーグ戦を戦い各リーグの1位チームがトーナメント戦を戦う試合形式で行われ高知県代表の「地鶏庵」が二年連続優勝を飾った。

夜の開会式では、吉田正信会長が野球ができることに感謝することとお世話になっているサッポロビールさんへの協力をお願いする。」とのあいさつがあった。

続いて、山陽小野田市の中元理事長の乾杯の音頭で交流会が始まった。

［決　勝］

地鶏庵（高知）
1000200 3
1000000 1
植野陶器店（高知）

（地）股川、島崎—大川
（植）高橋、川上、尾崎—橋本

二塁打　高橋、股川（地）
佐々木（植）

［準決勝］

スーパーシニアクラブ（山口）
0000000 0
000021× 3
地鶏庵（高知）

（ス）宗野—小早川
（地）濱田、股川—大川

二塁打　近森（地）

T'S倶楽部（鳥取）
0001000 1
200001× 3
植野陶器店（高知）

二塁打　野々宮（地）

優勝　地鶏庵

平成28年の西日本大会
一般＝鳥取県鳥取市
生涯＝徳島県阿南市

予選リーグ戦

■山陽小野田市野球場
姫路ヒーローズ（兵庫）0—3ヒーローズ（鳥取）▽姫路ヒーローズ（兵庫）1—12地鶏庵（高知）▽ヒーローズ（鳥取）0—3地鶏庵（高知）

■防府市スポーツセンター野球場
I LOBE BASEBALL（愛媛）4—5BIBLES（徳島）▽I LOBE BASEBALL（愛媛）1—15スーパーシニアクラブ（山口）▽BIBLES（徳島）2—3スーパーシニアクラブ（山口）

■厚狭球場
姫路HSクラブ（兵庫）5—6植野陶器店（高知）

■美祢市民球場
植野陶器店（高知）5—1姫路HSクラブ（兵庫）▽国府ナイン（徳島）4—11INLみずのクラブ壮年（愛媛）▽国府ナイン（徳島）0—4T'Sクラブ（鳥取）▽T'Sクラブ（鳥取）6—1INLみずのクラブ壮年（愛媛）

すすじせ
平成28年度西日本協会総会
日時　2月27日(土) 14時～
場所　サンピーチ（岡山市）

九州ブロック

バロンズ 大分県勢初優勝

第26回 九州早起き野球選手権大会

第26回九州早起き野球選手権大会は9月6日初めて大分県で開催された。九州協会に加入以来、待ちに待った大分県での開催が実現したが、生憎の空模様で大会関係者をヤキモキさせた。

グラウンドの荒れるのを避けるためスタンドでの開会式になったが大分県代表バロンズ甲斐憲次郎主将の選手宣誓が開会式を飾った。

小雨模様の中サッポロビール高見法人営業部長、また打席には内野九州支社副部長が立ち始球式が行われた。

試合は天候に災いされ全試合5イニングで行われた。1回戦4試合それぞれ好試合を展開、準決勝で昨年度優勝の長崎市消防局を破った花園クラブ（熊本）と大分勢として初めての勝利を挙げたバロンズ（大分）の決勝戦になった。試合は緊迫した展開になったが、最優秀選手に輝いた大星選手のタイムリー二塁打で先制したバロンズが初めて大分勢優勝を成し遂げた。

不安定な天候の中、閉会式では小雨。初優勝を遂げた大分勢の嬉し涙か。

大会を通じ不順な天候を乗り越えて7試合を無事終了させてくれた大分県支部の運営に大いに敬意を表すべき大会だった。

優勝　バロンズ

1回戦

中村消防防災（宮崎）
0 0 0 0 0 1 1
0 0 3 0 × 3
長崎市消防局（長崎）
（中）渡会―新名啓、新名祐
（長）相場―竹中

鹿児島トランスポート（鹿児島）
0 0 0 1 0 1 2
0 0 0 1 0 2 × 3
花園クラブ（熊本）
（鹿）桜井―松野
（花）中木原―福田

バロンズ（大分）
0 0 0 1 0 1
0 0 0 0 0 0
佐電光（佐賀）
（バ）重松―安井
（佐）鶴崎―森山
三塁打　安井（バ）

EAST BASE BALL CLUB（福岡）
0 0 2 1 0 3
0 0 1 0 1 2
安達野球部（長崎）
（E）稲永―佐藤
（安）真崎―藤沢

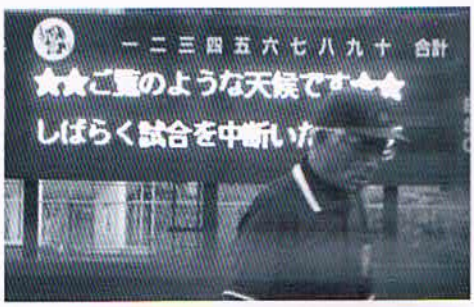
【準決勝】

花園クラブ（熊本）
1 0 0 0 0 1
0 0 0 0 0 0
長崎市消防局（長崎）
（花）船越―吉田
（長）大嶽、相場―竹中
二塁打　廣井、船越（花）

EAST BASE BALL CLUB（福岡）
0 0 0 0 0 0
0 1 3 0 × 4
バロンズ（大分）
（E）古川―佐藤
（バ）濱村―安井
本塁打　安井（バ）

【決勝】

バロンズ（大分）
0 0 0 0 0 2 2
0 0 0 0 0 0 0
花園クラブ（熊本）
（バ）橋本―安井
（花）中木原―福田
二塁打　廣井、福田（花）
大星（バ）



最優秀選手賞
大星　優（バ）

優秀選手賞
安井　啓介（バ）
濱村　聡史（バ）
中木原　純（花）
廣井　元稀（花）
橋本　庸幸（バ）
重松　孝平（バ）
船越　昌利（花）
福田　智也（花）

最優秀監督賞
朝来　浩一郎（バ）

優秀監督賞
竹下　公太（花）

常務理事会　1月23日
第36期定期総会　2月7日
全日本大会（東京都）
10月21日～23日
全日本還暦大会
（徳島県阿南市）
11月18日～20日

編集後記

今年から選抜大会の開催が中止になり少し寂しい気持ちなった。いつも春先から選抜の準備に忙しかったことを思い出していた。やはり忙しいくらいがいいのかな！野球がオリンピックの競技として認められそうなというニュースが飛び込んで来た。嬉しい限りである。日本プロ野球機構も小学校の授業に野球の授業を取り入れてもらう活動を始め先生方に集まってもらって講習会を開くという。

プロ野球選手会は、子ども達を対象にキャッチボールを広めて底辺拡大と技術アップに現役選手を動員して取り組む。

野球人気の獲得にプロ野球も動き始めた。我々早起き野球も発想を変えた新しい取みを考えなければいけない。時代に乗り遅れてはいけない。

スポーツマンシップに乾杯！

飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は楽しく適量で。のんだあとはリサイクル。

www.sapporobeer.jp サッポロビール株式会社

早起き野球、勝っても負けてもサッポロビール！